

STI(性感染症)に気をつけましょう

性感染症とは「性的接触によって感染する病気」と定義されます。普通の性器の接触による性交だけではなく、オーラルセックスなど性的な接触で感染する全てが含まれます。なかでもクラミジアと梅毒は、妊娠可能な女性にとって最も注意が必要な病気です。

クラミジアは子宮頸（けい）管に感染し、不妊症の原因にもなります。また妊婦健診において妊婦の3～5%にクラミジア保有者がみられ、我が国で最も多い性感染症となっています。

梅毒は、平成22年から感染者が増加し続けており、平成29年の国による報告数は平成22年の11倍以上の5,000人を超え、女性感染者の大半が15～35歳です。

クラミジアや梅毒にかかっている女性が妊娠すると、流産や早産、死産を起こすことがあります。また、おなかの赤ちゃんや出生した新生児への感染など、母子感染として次世代にも影響が及ぶこともあります。

感染を防ぐためには、不特定多数とのセックスを控えたり、確実にコンドームを使用したり、一人ひとりの注意が必要です。

性感染症は無症状であることも多く、感染に気付かなかったり医療機関を受診しにくかったりするなど、感染がいつの間にか他の人へ広がってしまうという問題点があります。

自分とパートナー、更には生まれてくる子どもを守るために、感染の疑いを持った場合は、速やかに医療機関を受診して検査を受け、感染していたら早期に適切な治療を受けるようにしてください。

平成30年3月

竹山 淳